

たかおか

市議会 だより

No.15 6月定例会号
平成21年(2009年)8月1日発行

6月定例会のあらまし	2P
個別質問	4P
委員会の動き	8P



編集 ■ 議会広報編集委員会
発行 ■ 富山県高岡市議会

〒933-8601

高岡市広小路7-50

TEL 0766-20-1531

FAX 0766-20-1534

E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp

待ちに待った海開き

写真提供：高岡市美術作家連盟 写真部



暑中お見舞い申し上げます。

高岡市議会議員一同

14議案を可決 個別質問に14人が登壇

6月定例会は9日に開会し、18日に閉会しました。

市長から平成21年度一般会計補正予算をはじめ13議案が、議員から意見書1議案が提出され、全14議案を可決、承認、同意しました。

今定例会では、個別質問に14人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決した主な議案等

条例

■平成21年6月の期末手当等に関する条例

5月の人事院勧告に伴い、6月の一般職及び特別職に係る期末・勤勉手当を減額（凍結）するもの。

■手数料条例の一部改正

長期優良住宅の普及の促進に関する法律の施行に伴い、所要の手数料を徴収するもの。

■国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の改正のほか、国民健康保険税財政の安定運用を図るため、保険税率の見直し等、所要の改正を行うもの。

その他

■工事請負契約の締結

①（下黒田雨水幹線第1号工事）北陸新幹線新高岡駅（仮称）



これまでの市政を振り返る橘前市長

周辺整備に伴い、対象地区の浸水対策を図るもの。

契約金額 1億1917万円

②（定塚小学校校舎耐震補強・給食室改修工事）

定塚小学校校舎の耐震補強及び給食室設置に伴う改修を行うもの。

契約金額 2億7358万円

■財産の取得

（災害対応特殊屈折はしご付消防ポンプ自動車）

はしご付消防ポンプ自動車を更新整備するもの。

取得価格 8337万円

議決結果一覧

初日提出議案

平成21年度 補正予算

◇一般会計……………全会一致で可決

条例

◇平成21年6月の期末手当等に関する条例……………賛成多数で可決

◇手数料条例の一部改正……………全会一致で可決

◇国民健康保険税条例の一部改正……………賛成多数で可決

その他

◇工事請負契約の締結（下黒田雨水幹線第1号工事）……………全会一致で可決

◇工事請負契約の締結（定塚小学校校舎耐震補強及び給食室改修工事）……………全会一致で可決

◇財産の取得（災害対応特殊屈折はしご付消防ポンプ自動車）……………全会一致で可決

◇市道路線の認定及び廃止……………全会一致で可決

◇新たに生じた土地の確認……………全会一致で可決

◇字の区域の変更……………全会一致で可決

報告

◇専決処分（市税賦課徴収条例等の一部改正）……………賛成多数で承認

◇専決処分（平成21年6月の期末手当等の特例に関する条例）……………賛成多数で承認

最終日追加提出議案

人事

◇固定資産評価員の選任……………全会一致で同意

議員提出議案（意見書）

◇北朝鮮の核実験に対する日本政府の厳格な対応を求める意見書……………全会一致で可決

報告

■専決処分の報告

①(市税賦課徴収条例等の一部改正)

地方税法の一部改正に伴い、市税賦課徴収条例の一部を改正したもの。

②(平成21年6月の期末手当等の特例に関する条例)

平成21年6月の期末手当等の減額措置を講ずるに当たり、期末・勤勉手当の基準日(6月1日)前に関係条例の改正を要することから、当該期末手当等の支給割合等について、別に条例で定めることとする特例条例を設けたもの。

人事

■固定資産評価員

坂下 照夫氏(総務部長)

意見書(要旨)

次の意見書を可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣をはじめ関係大臣に提出しました。

■北朝鮮の核実験に対する日本政府の厳格な対応を求める意見書

北朝鮮による地下核実験の強行は、わが国の安全に対する重大な脅威であり、国際社会の平和と安全を害するものとして、容認できない行為である。北朝鮮の核廃棄がなされるよう、国連安全保障理事会の北朝鮮制裁決議の着実な履行と追加的措置などの厳格な対応を求め、また、最大限の外交的努力を尽くすよう、平和都市宣言を議決した市議会として、強く要望する。

■平成21年度一般会計補正予算の概要

補正額 2億2,746万円

《主な事業》

緊急雇用創出事業費(雇用創出人数約100人)	1億69万円
耐震化事業費(公立保育所・市立公民館)	393万円
高齢者運転免許自主返納支援事業費	200万円
高岡御車山展示館(仮称)建設計画策定委員会	137万円
認定中心市街地支援事業費	100万円

請願

◇政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて、20万トン規模の政府米買い入れについての意見書提出(農民運動富山県連合会 代表者 小林定雄)……賛成少数で不採択

◇農地法の「改正」に反対する意見書提出(農民運動富山県連合会 代表者 小林定雄)……賛成少数で不採択

◇富山県の最低賃金の大幅引き上げと中小企業対策の拡充についての意見書提出(富山県労働組合総連合 議長 増川利博)……賛成少数で不採択

◇雇用破壊の元凶である労働者派遣法の早期抜本改正についての意見書提出(富山県労働組合総連合 議長 増川利博)……賛成少数で不採択

陳情

◇高岡市西田地内の大規模養鶏場建設反対について(太田校下連合自治会 会長 中木勝美ほか11名)……全会一致で継続審査

◇地域間格差を拡大する「地方移譲」に反対し、国土交通省地方出先機関の存続を求める意見書提出(国土交通省全建設労働組合北陸地方支部 富山支部長 元平幸成)……全会一致で不採択



工事が着々と進む高岡駅

議会日誌

3月定例会後～6月定例会前

- 3月26日 港湾対策特別委員会
議会広報編集委員会
- 4月15日 議会広報編集委員会
16日 経済消防常任委員会
建設水道常任委員会
- 17日 代表者会議
民生病院常任委員会
総務文教常任委員会
- 5月12日～14日 経済消防常任委員会行政視察
- 14日 建設水道常任委員会
民生病院常任委員会
- 19日 総務文教常任委員会
- 19日～21日 民生病院常任委員会行政視察
建設水道常任委員会行政視察
- 20日～22日 総務文教常任委員会行政視察
- 21日 経済消防常任委員会
- 26日 代表者会議
- 29日 民生病院常任委員会
- 6月 1日 議会運営委員会
2日 議員説明会
3日 正副常任委員長会議

6月定例会

- 6月 9日 議員協議会
本会議(提案理由説明)
議案説明会
- 11日 議会運営委員会
本会議(個別質問)
- 12日 本会議(個別質問)
代表者会議
- 15日 民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
- 16日 議会運営委員会
総務文教常任委員会
建設水道常任委員会
- 18日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議
(議案・意見書など議決)

個別質問

今定例会では、14人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



盤若 進二
自民クラブ

総合グラウンド

総合グラウンド整備について問う。

(1)計画策定を急ぐ必要があると考えるが、現在の進捗状況と今後の予定は。
(2)アクセス道路の形態は、どのように考えているのか。

教育長 (1)平成21年3月に、基本計画の策定に着手し、地元説明会を開催した。今後、予定地となる千鳥丘小学校西側の農地の農振除外申請を行い、22年度から用地取得等を進め、24年度に着工、26年度の完成を目指す。

(2)具体的な検討は、基本計画策定の中で、道路改良等を含めて行いたい。今後、関係機関や地元理解、協力を得て、安全安心で円滑な交通アクセスの確保に努力したい。

御車山展示館(仮称)整備

山町筋の核施設となる展

示館建設には多額の事業費が必要である。また、施設は歴史まちづくり法に基づくものと考えられるため、国・県の支援や、市民・企業の支援が必要と考えるが、見解は。

産業振興部長 国・県の支援を仰ぎ、有利な補助制度を活用するための事業手法を検討するとともに、県には助言、協力をお願いしていきたい。また、実現のためには、市民のご理解、ご協力が不可欠と考えている。



曾田 康司
自民クラブ

飛越能86万人の玄関口

新高岡駅(仮称)への全列車停車について問う。

(1)危機感をもって取り組むべきと考えるが、見解は。また、実現のための戦略は。

(2)各種団体、各界各層を巻き込みながら、広域的に進めていくべきと考えるが、見解は。
都市整備部長 (1)全列車の停車は、利便性のみならず、都



飛越能の玄関口としての新高岡駅(仮称)

市のイメージアップという点でも大きな効果がある。可能な限り、実現に向けて努力しなければならぬ課題であると考えている。実現のためには、多くの乗降客が見込めることが重要である。広域的な見地にたって利用しやすい駅とするとともに、県西部、飛騨・能登地域の産業振興、観光資源の充実等により、地域の活力を高め、乗降客数の拡大を図っていきたい。
(2)「みんなが支える新高岡駅」となる雰囲気づくりが肝要で

子育て施設のあり方

ある。周辺自治体や各種団体等と連携をとって、実現に向けて努力していきたい。

問 西部保育園内に開設されている子育て支援センターは、利用者が多い際に、園庭の一部を駐車場として利用している。園児の安全のため、駐車場を新たに確保すべきでは。

市長 今後、施設のあり方等の検討も必要と考えており、その際、駐車場の確保についても視野に入れていきたい。



樋詰 和子
公明党

積極的な女性登用を

問 本市女性職員の管理職への登用を推進し、幅広い人材の育成強化を図っては。

市長 女性職員の幅広い分野への活用とその能力を十分に発揮できる職場環境づくりに積極的に努めてきた。管理職への登用率は、年々増加しており、合併当初と比較すると4.3%の増となっている。

新エネルギーの導入促進を

問 一般住宅を対象にした本市独自の太陽光発電システム

設置補助制度を導入し、数値目標を掲げて、国の補助制度とともに普及啓発を図っては。

生活環境部長 国・県で開始された補助制度の周知や同システム導入への普及啓発を図ってきた。本市独自の補助制度については、国・県の補助制度との連携も視野に入れ、平成21年度内に導入したい。

追加経済対策の活用

問 国の補正予算に伴う補助事業を利用し、本市でも小学校や児童公園の遊具等の安全点検や老朽化した遊具の修繕・更新を実施しては。

市長 小・中学校や市の児童公園の遊具については、適時適切な安全管理を行っている。国の補助事業を取り入れ、さらに都市公園の遊具等の点検や修繕、更新に計画的に取り組む、安全で安心して利用できる公園の整備に努めたい。



金平 直巳
日本共産党

耐震化の年次計画の策定

問 市立公民館の耐震化の年次計画を一日も早く策定し、市民の期待に応えては。
教育長 平成20年度に実施し

た耐震診断、21年度に実施する耐震評定に基づき、22年度内を目途に年次計画策定に取り組んでいきたい。

耐震化計画の前倒しを

問 学校施設の耐震化計画では、Is値0・3未満のものは平成22年度末までに工事を終え、28年度末までには耐震化率100%を目指すことになっている。計画の前倒しにより、計画期間の短縮を。

教育長 Is値0・3未満の校舎及び体育館等については、国の経済危機対策の有利な制度も活用しながら、前倒しも検討し、積極的に推進していきたい。その他の施設についても、できるだけ早期に目標が達成できるよう努めたい。

市道を安全・安心に

問 市民から要望のある市道の補修、街灯やカーブミラーの設置について、平成21年度の予定と今後の努力方針は。

建設部長 未着手箇所やこれまで継続的に工事を実施している箇所を優先的に、また、新たな要望については、緊急度の高い箇所から順次整備を進めたい。今後も、国の交付金制度の利用などで、できるだけ多く取り組んでいきたい。



川島 国
市民高岡・新市民クラブ

環境問題への取り組み

問 高齢者運転免許自主返納支援事業の効果として、返納者数から算出した二酸化炭素削減値を公表するなど、環境対策につなげる運用をしては。

生活環境部長 二酸化炭素削減値の推計は困難だが、自家用車から公共交通への転換は環境対策として有効であるため、公共交通の利用促進を啓発していきたい。

高岡が果たす役割

問 広域連携を進めるうえで、県西部の中心として高岡市が果たす役割をどう考えるのか。

市長 今後の高速交通網の進展を地域活性化につなげるため、新幹線新駅や新たなインターチェンジの整備等を各市と共同し、着実に進める必要がある。また、ごみ処理、消防等の合理的で効率的な行政サービスの広域化についても引き続き取り組んでいきたい。

合併の検証

問 新高岡市として、4年目となる合併をどのように評価

しているのか。

市長 一体感を醸成する事業に取り組み、新市建設計画や総合計画に掲げる事業も形になってきている。また、開町400年記念事業などで旧市町の交流が進み、活力を感じるまちになったと考えている。加えて、周辺市との広域連携の推進等により、着実に新しいまちの形が現れ始めている。



上田 武
社民クラブ

早急な雇用対策を

問 企業誘致の推進と産業振興策の強化を図る中で、新たな雇用の創出が急務であると考えてるが、現状と今後の取り組みは。

市長 経済状況好転時の企業ニーズにいち早く対応できるよう、四日市工業団地の整備を進めている。また、工業団地への立地促進を図るため、制度を整理・拡充した。今後とも、拡張や設備投資をされる企業への支援を進めることにより、新たな雇用の場の創出に努めていきたい。

生み育てやすいまち

問 少子化対策と子育て支援

について問う。
(1) 国の妊婦健康診査臨時特例交付金は、平成22年度末までの期限措置である。妊婦健康診査の14回分の助成が継続されるよう国に要望を。

(2) 入院医療費の無料化を小学6年生までに拡大しては。

市長 (1) 23年度以降も市単独で14回分の助成を行うことは、財政的に大変厳しい。県内他市町村等と連携し、県を通じて国庫補助の継続を要望していきたい。

(2) 20年10月から、児童の医療費助成の対象を小学3年生までに拡大した。助成対象の拡大による事業費の推移を見極め、それを踏まえたうえで、子育て支援策全体について、総合的に判断していきたい。



子育て支援の充実を

環境施策の推進



島村 進
社民クラブ

問 太陽光発電の一般家庭への普及につながる設置補助制度を早期に実施する考えは。

生活環境部長 国・県への補助申請件数が県内でも伸びている。また、近隣市においても補助を実施していることから、本市独自の補助制度について、国・県の制度との連携も視野に入れ、平成21年度内に導入したい。

説明責任を引き継ぎ

問 市長の退職について問う。(1) 任期半ばでの退職について、市民への説明責任を果たすべきと考えるが、見解は。

(2) 重要施策は一定の前進を見たが、市政の課題は山積している。これをどう引き継ぎ、実現させていく考えなのか。

市長 (1) 県西部6市の発展のため、職を辞して汗をかくことが私の務めと思った。出馬要請を断ることは、逆に内向きになり、今後の高岡の発展に禍根を残すことになると考え、斎場の安定稼動を見届けた後、最終的に決断した。

* Is 値：耐震性を判定する指標。震度6強程度の地震の振動及び衝撃に対して、Is 値0.3未満の場合は「倒壊し又は崩壊する危険性が高い」、Is 値0.3以上0.6未満の場合は「倒壊し又は崩壊する危険性がある」、Is 値0.6以上の場合は「倒壊し又は崩壊する危険性が低い」とされている。

(2)残された課題について、今後いろいろな決断が必要になる場面があるかもしれないが、以前よりは姿や道筋を見えやすくした状態でバトンを渡せるものと感じている。決めるべきときに、議会と執行部がしっかりと議論して決断すれば、道を誤ることはないと思っており、それをお願いしたい。



南部 周三
日本共産党

Ⅰ 環境整備

問 地上デジタル放送完全移行に向け、公民館、小・中学校への対応を急ぐとともに、整備に当たっては、地域活性化に配慮を。また、学校への電子黒板導入の考えは。

教育長 国の新たな補助制度を活用し、地上デジタルテレビの早期導入を検討したい。その際、分割発注を含め、効果的な方法で対応したい。小・中学校への電子黒板の導入についても、同制度を活用し、検討したい。

適正な規模と配置

問 学校適正規模・適正配置についての基本方針は。また、どのような態度で臨むのか。

教育委員長 市立学校適正規模・適正配置検討委員会からの中間報告を尊重し、基本方針を検討する。なお、地区協議会を設置し、地域における合意形成を図りながら進めていきたい。

地区公民館の機能拡充

問 能町地区公民館の早期改築を求める要望書が、整備候補地を挙げ、提出されている。整備に向けた決意と方針は。

市長 既存の公民館の再整備、改修等は、緊急度・優先度、地域の実情等を十分勘案しながら、検討を進めていきたい。要望のあった整備候補地は民間所有地であり、その確保を含めた対応が求められているものと考えている。



杉森 利二
公明党

国の緊急経済対策

問 国の平成20年度補正予算への取組状況について問う。(1)中小企業の支援策について現状認識は。

(2)定額給付金、子育て応援特別手当、地域活性化・生活対策臨時交付金等の状況は。

市長 (1)補正予算の中では、

セーフティネット保証の緊急保証枠の拡大を行っている。本市における認定件数は、20年11月以降、急激に増加しており、中小企業を取り巻く状況は、厳しいと感じている。(2)21年6月12日現在で、定額給付金は申請書送付件数の92・4%に26億7230万4千円を、子育て応援特別手当は対象世帯の93・4%に7581万6千円を支給している。地域活性化・生活対策臨時交付金の規模は2億8358万円で、20年度中に1億9858万円を優良住宅団地支援事業等に活用した。

経済対策に対する市の方針

問 国の平成21年度予算、補正予算で示された経済対策には多様な項目があるが、市では、どれに力を入れるのか。

市長 緊急雇用創出事業を実施することとしている。新た



消防力の充実で安全安心なまちに

なものは、今後の補正予算で速やかに対応できるよう検討している。国の施策と歩調を合わせ、地域における公共投資の円滑な実施等に取り組みため、新たな交付金等を積極的かつ有効に活用したい。



酒井 立志
自民高岡 新市民クラブ

日本海側の拠点港

問 ロシア向けトライアル輸送の実験結果を踏まえ、伏木富山港の今後の新たな発展の可能性は。

市長 課題はあるものの、太平洋側の港湾に対する伏木富山港の優位性が明らかとなった。このことから、国内や環日本海諸国との「ひと・もの」の交流の活発化が期待され、今後さらに、その役割が重要になると考えられる。

消防広域化の推進

問 消防広域化の進捗状況は。

消防長 平成20年7月から射水市、氷見市と広域化や指令業務の共同運用等について勉強会を行ってきた。消防力の充実と住民サービスの向上を図るため、引き続き3市で勉強会を重ね、よりよい広域化

に向けて努力していきたい。

国と地方の関係

問 国で地方分権改革が議論されている。これからの地方と国の形についての見解は。

市長 地方は、自らの資産を磨くことで地域力を高め、互いに競いながら特色のあるまちづくりを進めていくことが大事である。国と地方が協力関係を築きながら、このような方向を目指していくことが活力ある国土の形成につながると考えており、地方の取り組みに対し、国が積極的に支援していく環境を整えていくことが必要と考えている。



水口 清志
自民クラブ

学校教育環境の向上

問 学校施設の整備方針について問う。

(1)本市の学校整備に当たり、学校の適正規模・適正配置についてどう考えているのか。(2)野村小学校の現状と課題についてどう考えているのか。(3)今後の市立小・中学校の改築及び改修に対する考え方は。

教育長 (1)学校は、それぞれ長い歴史と伝統を有し、地域

*セーフティネット保証：経営の安定に支障を生じている中小企業者に対し、補償限度額の別枠化を行う制度。国では、厳しい経済情勢を踏まえ、セーフティネット保証5号の対象業種的大幅な拡大を図っている。なお、この制度を利用する場合には、一定の要件を満たし、市町村長の認定を受ける必要がある。

と密接な関係にあると認識しており、再編統合の問題は簡単に結論を出せない。学校の適正規模・適正配置を具体的に進める際には、地区ごとに協議会を設置して、その中で十分な検討・協議をしていた

車道を活かした本市の活性化策について問う。
(1)ロシア向けトライアル輸送の実施結果を踏まえ、伏木外港が担う役割は。
(2)定期航路とJR貨物を活用した輸送計画を検討すべきでは。

ながら進めていきたい。
(2)同校は市内で最も学級数が多く、教室、体育館、グラウンド等が手狭で、使用に制限を受けている。この課題については、再編統合の進捗状況や方向性も見極めながら、学校施設全体の整備計画を検討する中で考えていきたい。

市長 (3)安全・安心な学校づくりが重要である。現在、学校施設の耐震化を積極的に推進している。これまでも学校施設の改築に当たっては、地域の方々と保護者の意見・要望をできるだけ反映してきた。

今後とも、地域の歴史や文化を生かし、児童生徒が誇りをもって通うことのできる学校となるよう努めていきたい。



向 栄一郎

自民高岡 新市民クラブ

ロシア向け輸送ルート

問 伏木外港と東海北陸自動車



まもなく開通、伏木万葉大橋

が期待できる。

建設部長 (2)JR貨物を利用した新たな輸送ルートが構築

されれば、荷主企業に対して大きなアピールポイントになることから、国、県、関係機関に相談していきたい。

新駅周辺での駐車場確保

問 飛越能86万人の玄関口となる新幹線新駅周辺での駐車場の確保は。

都市整備部長 新駅北側駐車場は、短時間利用者向け公営

駐車場として市が整備するもので、現在、用地交渉を進めている。南側駐車場は、パークアンドライド用として民間資本による整備も期待しており、新駅南側の一体的な整備の中で用地確保を考えている。



石須 大雄

社民クラブ

対策は万全に

問 新型インフルエンザについて問う。

(1)市では、どのような対応がなされているのか。

(2)感染拡大時の対応方針は万全にしておく必要があるが、行動計画の策定状況は。

市長 (1)新型インフルエンザの発生に際し、情報収集を行うとともに、危機管理連絡会議により、各部局との情報共

有と対応の検討を行った後、対策本部を立ち上げ、全庁的な体制を整えた。また、市民からの相談窓口の設置、広報活動を通じて予防対策の周知・啓発活動を実施している。

(2)国・県と連携した対応がとれるよう、行動計画案を検討する一方、県内発生早期における各部局の対応を検討してきた。県において行動計画が定まったことから、平成21年6月にも市の行動計画等ととりまとめた。

伏木の観光資源

問 伏木万葉大橋の供用開始によって、義経と弁慶のブロンズ像が橋の下となる。移動し、観光に役立てては。

市長 設置場所については、今後、伏木の魅力を高める観光資源として活用できる適地を検討し、地元の合意形成がなされれば、関係者等と協議していきたい。



大井 弘

自民クラブ

地域の発展

問 戸出地区の重点課題について問う。

(1)コミュニティ施設について、

地元では具体的な施設内容の提示と早期の事業着手を心待ちにしている。現在の検討状況と今後の予定は。
(2)北陸自動車道のインターチェンジ新設にあわせ、市道整備を急ぐべきでは。

市長 (1)伏木・戸出・中田地区コミュニティ施設整備基本構想に基づき、現在、中田地区の整備を進めており、他の2地区についても、諸課題の整理を進めていきたい。早期整備に向けた戸出地区の熱意を感じており、市と地域が

各々の立場から十分に意見交換をしながら、施設整備に向けた検討を進めていきたい。
(2)戸出町一丁目4号線等の早期完成を目指すとともに、地区要望の道路等についても、地元の皆様のご理解とご協力を得ながら、計画的に取り組んでいきたい。

退任に当たって

問 これまでの市政を振り返り、心残りに思うことは。

市長 子どもたちの元気な姿に触れ合えたことは、市長冥利に尽きる。志を持った方々が多様な自己実現ができ、それを受け止められる懐の深い高岡となり、若者がもっと集うまちとなれば一番うれしい。その意味で少し心残りである。

7 *ロシア向けトライアル輸送：国土交通省北陸地方整備局が行った、名古屋市内から伏木富山港、ウラジオストク港を経由し、ロシア内陸のノボシビルスクまで貨物を運ぶ実証実験。JR、東海北陸自動車道やコンテナ船、RORO船などによる3つの基本ルートを設定し、完成自動車、一部区間で国産ビールを輸送。

委員会の動き

4 常任委員会では、委員が次のような観点から当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。

○総務文教常任委員会

◆県の委託事業として、豊かな体験活動推進事業費や研究指定校推進事業費が補正予算に計上されている。市費の上乗せはないのか。

◆安定した雇用の創出が、人口対策の観点からは重要である。市が取り組む45の緊急雇用創出事業の一つである人口対策関連資料作成事業の内容とスケジュールは。

◆人事院勧告に伴う公務員給与カットの条例改正により、



おとぎの森にドラえもんハウスオープン

ど経済の活性化を図る中、矛盾があると考えるが、見解は。

○民生病院常任委員会

◆平成20年度中に実施した保育所の耐震診断の結果、第三者機関による評価が必要な2カ所とは。

◆土地開発公社委託料が減額となっているが、内容は。

○経済消防常任委員会

◆ふるさと雇用再生特別基金事業で、空き店舗活用を行うこととなっているが、緊急雇用創出事業との違いは。

◆御車山展示館（仮称）建設に当たっては、事業費の面で、市と地元の役割分担を明確にするなど、慎重に進めてもらいたい。

◆災害対応特殊屈折はしご付

消防ポンプ自動車購入後の、はしご車の台数と配備状況は。

◆消防用ホース保全事業は、各消防団が把握しているホースの状況を調査したうえで、事業に着手すれば効果が上が

ると思うが、見解は。

◆林道周辺環境整備事業は、具体的に出ている改善要望を踏まえ、適切に対応してもらいたい。

◆緊急雇用創出事業で、企業立地動向アンケート調査を実施することだが、企業誘致よりも、企業の訪問調査に、まず、取り組むべきでは。

○建設水道常任委員会

◆緊急雇用創出事業で行う古城公園のカラス対策では、巢の駆除等を積極的に行うべきでは。

9月定例会の予定

9 月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、8月24日（月）開催予定の議会運営委員会で決定されます。

1日（日）	11時	議員協議会
	13時	本会議 （市長の提案理由説明）
3日（火）	10時	本会議（代表質問）
7日（土）	9時	議会運営委員会
	10時	本会議（個別質問）
8日（日）	10時	本会議（個別質問）
		本会議終了後 水道病院決算特別委員会 決算特別委員会
9日（月）	13時	民生病院常任委員会
	13時	経済消防常任委員会
10日（火）	10時	議会運営委員会
	13時	建設水道常任委員会
	13時	総務文教常任委員会
14日（土）	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議（議案など議決）
15日（日）	10時	水道病院決算特別委員会
	13時	決算特別委員会
17日（火）	9時30分	決算特別委員会
		水道病院決算特別委員会
18日（水）	9時30分	決算特別委員会
		水道病院決算特別委員会
25日（火）	10時	水道病院決算特別委員会
	13時	決算特別委員会
29日（土）	9時30分	委員長会議
		議会運営委員会
	10時	議員協議会
	13時	本会議 （決算の認定など議決）

❖ 詳しい内容については、高岡市議会事務局（☎20-1531）までお問い合わせください。

市議会の傍聴

最近の定例会の傍聴者数

定例会	本議会	委員会
20年 9月	81人	2人
20年12月	49人	1人
21年 3月	71人	1人
21年 6月	140人	0人

編集後記

◆古城公園のカラスを追い払うだけでは、近隣へ移動し、被害の拡大を招く可能性がある。捕獲のうえ処分する方法をとるべきでは。

6 月議会は、旧高岡市の第31代、また、新市の初代市長であった橋市長にとって、最後の議会となりました。合併や斎場などの様々な課題や問題を先送りにせず、自ら率先して市民との対話を重ね、実現や次のステップへと着実に歩みを進めてくれました。

そして、高橋新市長のもと、9月に開町400年を迎えます。市内各地で様々なイベントが企画される中、伏木では8月1日から4日まで「伏木港まつり」が行われます。今年には開港110周年の節目の年として、記念の式典やパレード、けんか山の展示、かっちゃん、帆船日本丸の寄港など、例年よりもさらに盛大に行われる「伏木港まつり」へ、ぜひお越しください。（石須記）

★編集委員

◎青木、○梅田、石須、金森、酒井、曾田、南部、樋詰、高島、大井 正樹

（◎委員長 ○副委員長）